

ONE TEAM

府中緑ヶ丘中学校 3学年
学年通信 NO.7 & 進路通信16
令和6年9月2日(月)

～夏の学び～

○ようこそ先輩！

8月1日の登校日に、安芸府中高校の生徒のみなさんに来校していただき、「ようこそ先輩！」を実施しました。受験勉強のポイントや自己表現のこと、中学校生活で取り組んでほしいことについて様々な体験談を聞くことができました。

<感想より>

- ・学力だけでなく、通学時間・部活など、いろいろな視点で高校を決めていけばよいと分かりました。
- ・今、高校で生活している先輩のお話は、現実味があり、もうすぐ高校生になるのだと感じました。
- ・受験勉強は早めにしておいた方がよいと親から言われても実感が湧かなかったけど、先輩から言ってもらうと、とても説得力があり、少しずつでも取り組もうと思いました。
- ・面接や自己表現では、先生とたくさん練習して、いろいろな質問にも対応できるようにすることが大事だと分かりました。



○面接練習！

7月から8月かけて、面接練習を行いました。そして、9月3日の総合では、面接練習についての振り返りを行います。面接官として参加してくださった校長先生や教頭先生、3年生の先生からは、「面接のときの出入りやあいさつ、礼など礼儀面がとてもよかった」「中学校生活で頑張ってきたことを、自分の言葉で一生懸命に伝えようとしているところが素晴らしい」という嬉しい言葉をたくさんもらいました。一方で、「質問に対する回答は、一般的なことに終始するのではなく、もっと具体的なことに触れて自分を表現していくといいのではないか」という意見もありました。

「自分とはどんな人物なのか?」、「自分の夢や目標とは何なのか?」、「これから自分がやりたいことはどんなことなのか?」に向き合い、相手に理解してもらえよう工夫しながら伝える練習をしていけるといいですね。また、「面接のときだけ挨拶をしたり、身だしなみを整えたりするのではなく、普段の学校生活から意識していくことも大事なことです。面接練習での自分の良かったところや今後直したいところをまとめ、改善していきましょう。」



～進路選択の2学期～

2学期はみんなにとっては「進路選択」の学期となります。11月には第2回進路説明会、進路の方向性を決める三者懇談を実施、12月には受験校を決定する三者懇談を実施していきます。進路を選択して、実現していきましょう。

さて、進路について、〇×クイズです！

- ①受験（検）に関する話のことを進路学習という。
- ②オープンスクールの申し込みはすべて学校を通して行う。
- ③第3回の実力テストは10月9日である。
- ④公立高校を受検する際に調査書にのる成績の合計点は9教科×5段階評価×3年間の135点である。
- ⑤公立高校を受検する際の学力検査は50点×5教科の250点満点である。
- ⑥公立高校の学力検査は1日ですべてを受けなければいけない。
- ⑦公立高校を受検する場合は私立の推薦入試を受けることができない。
- ⑧私立高校の推薦入試は中学校長の推薦が必要であるが、専願入試にも中学校長の承認が必要である。
- ⑨公立高校は広島県すべての高校で同じ学力検査の問題を解く。
- ⑩公立高校では受検者が定員に満たない場合（倍率1を切った場合）、全員が合格になる。

進路選択で大切なこと

将来の自分を考えること

進路選択の最終的な目標

自立してよりよく生きることができるようになる

高校を選ぶことが最終目標ではない！

どのようにして進路を決めていくのか

オープンスクール・体験入学・学校説明会への参加

自分から積極的に、上級学校の情報を収集する

注意すること

締切厳守

掲示板・配布物の確認



令和6年度 3学年【学年目標】



【〇×クイズの答え】

①× ②×自分で申し込むこともある。自分で情報を入手しましょう ③〇 ④×3年が3倍になるため225点満点 ⑤〇 ⑥〇その後自己表現カードも記入する ⑦〇公立を受検する場合、私立は専願or併願 ⑧〇 ⑨〇 ⑩× 受検者が定員に満たない場合であっても、入学後、高校の勉強についていけないと判断される場合は不合格になることもあります。

